第3学年 国語科学習指導案

日 時 平成26年9月5日(金) 5校時

学級 3年B組

(男子18名、女子18名、計36名)

場 所 一関市立千厩中学校3年B組教室

授業者 教諭 及 川 洋 子

1 単元名 『4 状況を読む』

2 学習材 中心学習材 「挨拶―原爆の写真によせて」「故郷」(光村図書「国語3」)

補助学習材 「朝日新聞」「読売新聞」「岩手日報」「岩手日日新聞」他

3 単元について

(1) 学習材について

本単元は、第3学年「読むこと エ」の「文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」「慣用句・四字熟語などに関する知識を広げ、和語・漢語・外来語などの使い分けに注意し、語感を磨き語彙を豊かにすること」を指導する。

このために、今の平和や幸福が永遠に続くと思い込んでいる私たちへ警鐘を鳴らしている「挨拶―原爆の写真によせて」や状況を背負って生きる人間の姿を描いた「故郷」を学習することを通して、現代社会でもそのような状況下で懸命に生きる人々へ関心を向けるきっかけとしたい。現代社会に目を向け、考えを深める上では、新聞はその特性である一覧性や俯瞰性、解説性や詳報特性などにより、「今」について考える有効な学習材であると考える。

(2) 生徒について

授業に対して真面目に取り組む生徒が多い。しかし、与えられた課題については真剣に取り組むが、自分から課題を見つけ考えをもとうとする意識は低い。

本校では、昨年度から朝読書の時間を利用して定期的に「朝新聞」の期間を設け、全校で取り組んできた。その取り組みについて意識調査を行ったところ、約3割が新聞を読むことがあまり好きではないと回答した。しかし、「朝新聞」の活動を通して、新聞への関心が高まったと回答した生徒が約8割に上った。新聞を読む良さについて、「世の中のことについて知ることができる」「テレビの情報より詳しく知ることができる」「様々な表現や漢字、言葉を知ることができる」ことなどを挙げている。

これまでの、指導事項「読むこと エ」に関わる学習では、文章を読み、文章に表れているものの見方や考え方やについて感じたことをまとめる学習にはスムーズに取り組める。

今年度は「朝新聞」の他、授業においても発展的教材として新聞を活用してきた。教師が 用意した同じ題材で書かれた記事の比較・批評や、同じテーマについて書かれたコラムから 立場の違いを読み取る学習の経験はあるが、自分から社会に目を向けて考えをもつことには あまり馴れていない。

(3) 指導について

これまでは、共通の学習材を読み、それを根拠にして意見文を書く学習を中心に行ってきたが、本単元では一人一人が関心を持つ事象を探し、独自の考えをまとめることに取り組みたい。

この学習を通して、生徒個々が社会の事象への関心を高めると共に、自分の考えを巡らせ、 自分の考えをしっかりと持つことで、豊かな心情の形成や思想を形成するきっかけとしたい。

- 4 国語科における「活用を意識した学習活動」のとらえ 国語科においては、以下のような学習活動を、「活用を意識した学習活動」ととらえる。
- (1) 語彙能力を高め、自分の考えを整理してまとめたりして表現ができる学習活動
- (2) 自分の考えを交流したり、比較したりしながら、互いを高め合う学習活動
- (3)様々な文章や本に接し、日常生活や社会生活にいかせる学習活動

5 単元の指導目標

(1)【関心・意欲・態度】

社会生活の中の事柄やその背景について関心を持ち、自分の考えを深めようとする。

(2)【読むこと】

文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつことができる。

(3)【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 文章を読んで語感を磨き、語彙を豊かにすることができる。

6 単元の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
・新聞や友達の書いた文章を読み、	・文章を読んで人間、社会、自然	・文章を読んで語感を磨き、語彙
社会の出来事に関心をもち、自分の	などについて考え、自分の意見を	を豊かにしている。
考えを深めようとしている。	もっている。	

7 単元の指導計画

			評価計画		「知識・技能の	「活用を意識し	
次	時	学習活動	国語への関心・	読む能力	言語についての	習得」の場面	た学習活動」の
			意欲・態度	DL 67 HE 27	知識・理解・技能	日付」の参田	場面
	1	「挨拶―原爆の	◆詩を読み、作者	◆表現や語句の工夫		○詩に使われてい	
		写真によせて」	のものの見方や考	に着目し、作者のも		る表現から語彙を	
		を読み、作者の	え方について考え	のの見方や考え方に		豊かにする。	
第		思いを読み取	ようとしている。	ついて読み取ってい			
_		る。	(ノート、観察)	る。(ノート、観察)			
次		・戦争や平和に	◆戦争や平和に関	◆戦争や平和に関す	◆用いられている		★事実と意見を読
		ついて自分の考	する事柄について	る記事を読み、自分	漢字を正しく読ん		み分け、自分の考
	2	えをもつ。	話題を探し自分の	の考えを深めてい	でいる。		えをもつ。
			考えをもとうして	る。(文章)			
			いる。(文章)				
第	3	・故郷の時代背	◆故郷の描かれた		◆文章中の時間の		
二		景を理解し、通	時代背景に関心を		経過による言葉の		
次		読してあらすじ	もち、読もうとし		変化に注意して読		
		をつかむ。	ている。(観察)		んでいる。(観察)		
	4	・情景描写に着		◆情景描写に着目		○心情を表す情景	
		目し、帰郷の場		し、思い出と現在を		描写に着目する。	
		面から「私」の		対比させ、「私」の心			
		心情を読み取		情を読み取ってい			
		る。		る。(ノート、観察)			
	5	・少年時代のル		◆回想場面から、少		○少年時代のルン	
		ントウに対する		年時代のルントウに		トウの描写に着目	
		「私」の思いを		対する「私」の思い		する。	
		読み取る。		を読み取っている。			
				(ノート、観察)			

第	6	・ヤンおばさんの		◆ヤンおばさんの変		○ヤンおばさんの	
_	0	変容をとらえ、		▼ヤンねはさんの変 容をとらえ、「私」の		描写に着目する。	
\/hr						1田子に有日9 る。	
次		「私」の思いを読		心情を読み取ってい			
		み取る。		る。(ノート、観察)			
	7	・ルントウの変容		◆過去と現在のルン		○ルントウの過去	
		と、「私」やルン		トウを対比させてそ		と現在を比較する	
		トウの心情につ		の変容をとらえ、		描写に着目する。	
		いて読み取る。		「私」とルントウの			
				心情を読み取る。			
				(ノート、観察)			
	8	・ルントウやヤン		◆作品の背景にある		○ルントウやヤン	★ルントウやヤン
		おばさんを変容		社会状況について考		おばさんを変容さ	おばさんを変容さ
		させ、「私」との		え、ルントウやヤン		せた社会状況につ	せた社会状況につ
		隔たりができた		おばさんを変容させ		いて考える。	いて自分の考えを
		原因や社会状況		た原因について考え			もつ。
		について考える。		ている。			★「希望」につい
		・「私」 の描く 「希		◆「私」の描く「希			て自分の考えをも
		望」について考え		望」が何かを考え、			つ。
		る。		まとめている。			
				(ワークシート、観察)			
第	9	・学習の見通しを	◆現代社会では、		◆新聞で使われる		
三		持つ。	どのようなことが		表現から語感を磨		
次		・様々な新聞から	起こっているかに		き語彙を豊かにし		
		関心のある記事	関心を持ち、自分		ている。		
		を探す。	の考えをもとうと		(ワークート、観察)		
			している。(観察)				
	10	・自分が感じたこ	◆現代社会へ関心	◆新聞が伝えている		○新聞を読み、自	★交流したことか
		とを交流し合い、	をもち、自分の考	ことをとらえ、人間、		分の考えをもつ。	ら自分の考えを深
		自分の意見を深	えを深めようよし	社会、自然などにつ			める。
		める。(本時)	ている。	いて自分の意見をも			
			(ワークシート、観察)	っている。			
				(ワークシート、観察)			

8 本時の指導

(1) 目標

①新聞や友達の書いた文章を読み、現代社会に関心をもち、自分の考えを深めようとする。

(関心・意欲・態度)

②新聞を読んで伝えたいことを読み取り、人間、社会、自然などについて自分の意見をもつことができる。 (読むこと)

(2) 本時の構想

本時の授業では、前時までに各自が選んだ新聞記事について、記事の趣旨や自分が考えたことについて書き、交流する学習を行う。

(3) 本時の評価規準

国語への関心・意欲・態度	読む能力
・現代社会に関心をもち、自分の考えを深めよう	・新聞を読んで要旨をとらえ、人間、社会、自然などに
としている。 (評価①)	ついて自分の意見をもっている。(エ) (評価②)

(4)展開

(4	4) 月	展開 展開		
段階		指導内容	学習活動	指導上の留意点(◎)、活用の場面 (★)、習得の場面(○)、評価(■)
導	1	前時の確認	1 前時の振り返りをする。	◎各自が関心を持った新聞記事をスクラップしたことを確認する。
入	2	学習課題の提示	2 学習課題を把握する。	
5 分		【学習課題】 グループ交流	忙をして、人間の生き方について自分の考	えを深めよう。
),	3	本時の流れの確認	3 本時の学習活動と時間配分を確認 する。	◎本時の流れが分かるよう掲示を行う。
	4	グループ交流	4 自分の選んだ記事と考えについて グループ内で発表する。	○新聞を読み、自分の考えをも つ。
展開			(1) 司会者の進行によって順番に 発表する。	■新聞を読み、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。 (評価②)
4			(2)他者の発表を聞き、質問や感 想の交流をする。	★交流したことから自分の考 えを深める。
2 分	5	全体交流	5 自分の選んだ記事やグループでの 交流について発表する。 (1) グループ発表での感想を発表 する。	◎グループ交流を観察し、発表者を指名する。
			(2) 自分が作ったスクラップと感じたことを発表する。	◎事前にスクラップを確認し、発表者を指名する。
	6	まとめ	6 グループや全体での発表を通して 自分の考えのまとめを行う。	■現代社会に関心をもち、自分の考えを深めようとしている。 (評価①) ■新聞を読み、人間、社会、自然などについて自分の意見をもっている。 (評価②)
終結	7	学習の振り返り	7 全体で学習の振り返りを行う。	
3 分	8	次時の予告	8 次時の学習内容を確認する。	